

事業所名

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

2月

1日

法人（事業所）理念	すべての人が笑顔に		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いっきり遊んで、たくさん食べて、よく寝る」本来あるべき健やかな子どもの姿を大切にします。 ・「やりたい！」を「できる！」に！毎日楽しく過ごします！ ・自然の中でのびのびと楽しみながら、「ありがとう」を自然に言える子ども、「ただいま」と帰れる場所。 		
営業時間	<ul style="list-style-type: none"> ・平日 10:00～19:00 ・土、祝、長期休暇 8:30～17:30 	送迎実施の有無	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px; display: inline-block;">あり</div> なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時の検温や支援中の様子から視診して心身の健康状態を把握し、異常があれば処置もしくは受診の促し、保護者への報告等、適切な対応を行います。 ・来所時の挨拶や手洗い、食後の歯磨き等、習慣付けられるよう行います。 ・イベントを通して基本的な生活スキルが身に付くよう支援します。 ・片付けや一日の見通し、場所など、時間や空間について絵カード等を用いて、理解しやすい環境となるよう視覚支援を行います。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢、下肢の運動・動作の習得、筋力の維持・強化を図ります。 ・障害の状態や発達の段階、興味関心に応じて、保有する感覚を十分に活用できるよう、室内外のイベントや遊び等を通じて支援します。 ・イヤーマフやパーテーション等を使用し、感覚の特性（過敏や鈍麻）に対する環境調整等を行います。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動を通して、ルールや順番の理解と守ることができるよう支援します。 ・経験や湧きおこる感情を大切に、危険予測に対する理解や判断ができるよう支援します。 ・様々な体験を積み重ねて自分でできることを増やし、自信をもって「やりたい」という意欲や行動に繋がるよう支援します。 ・活動や遊びを通して「空間」「時間」「数」等の概念の形成を図って、認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援します。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・特性に応じたコミュニケーション手段を用いて意思の伝達ができるよう支援します。 ・コミュニケーションを通して物事や状況、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図り、体系的な言語を身に付けることができるよう支援します。 ・相互作用によるコミュニケーションを通し、相手の行動や意図を理解、推測する力や場面に応じた言動が学べるよう支援します。 ・コミュニケーション手段の活用（SST、発表する機会の提供、ロールプレイ、意見の交換）を行います。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な年齢の仲間との交流や体験を通して、社会に出るために必要な協調性、公共の場でのマナーやルールの習得に繋がるよう支援します。 ・子どもとの信頼関係が築けるよう、環境に対する安心感、職員に対する信頼感等を育めるよう環境の調整や子どもとの会話や遊びを行っていきます。 ・模倣遊びや感覚・運動遊び、小集団での遊びを通して、個々に応じた社会性の発達を支援します。 ・自己や他者の行動の特徴や感情の状態を理解し、自己を肯定的に捉えられる機会を通して、状況に応じた行動ができるよう支援します。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの発達段階や特性の理解に向けた相談援助 ・不安や困りごとに対する相談援助 ・送迎時や連絡帳、SNSを活用しての情報の共有、交換、提供 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関（学校、相談支援事業所、併用事業所）と適宜連携し情報共有や会議等を行う
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等、地域の社会資源を活用した活動を行う ・学生ボランティアやアルバイトの受け入れを行い、交流や放課後等デイサービスの認知を広める 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・研鑽のための研修や、資格取得にかかる費用の補助 ・虐待防止やコンプライアンス等の法定研修の実施 ・適宜ケース検討会を行う
主な行事等	季節行事（クリスマス会、夏祭りなど）、調理活動（ピザ、ゼリーなど）、野外活動（遠足、公園遊びなど）、工作活動（凧、スライムなど） 専門家を読んでの活動（体操、習字、軟式テニス）		